

守口市立図書館指定管理者制度 総合評価(施設所管課による評価)

【評価対象施設】 守口市立図書館

【指定管理者名】 図書館流通センター・大阪ガスビジネスクリエイト・長谷工コミュニティ共同事業体

【評価対象年度】 令和5年度

【施設所管課名】 市民生活部 生涯学習・スポーツ振興課

施設のサービス水準の視点 コメント
来館者数、図書貸出冊数、図書貸出件数が増加傾向であり、蔵書冊数についても図書館運営方針に掲げる拡充計画を大きく上回り、1年前倒しで目標を達成した。 生涯学習施設については、令和4年度まで続いたワクチン接種会場ではなくなったものの、空調機器や照明機器の工事のため貸出ができない期間があったことなどから、利用率が目標値を少し下回っているが、防音スタジオについては高い利用率を維持できており、他の施設についても原画展などのイベント企画やボードゲームの貸出しの実施など、利用率向上に向けた工夫が見受けられる点が評価できる。 利用者満足度については、自習スペースやWi-Fiの使用状況についての声はあるものの、利用者の要望や意見を反映させて改善を図っている点や、スタッフの対応面でも高い満足度となっている。 引き続き、利用者ニーズに沿った事業を実施し、利用者満足度の向上に努められたい。

収支状況 コメント
令和5年度の収支状況については、令和4年度に引き続き感染症対応に係る人件費の増額及び全国的な光熱水費の高騰等により予算額を超過したため、赤字決算となっている。 今後も支出面での抑制に取組み、施設利用や自主事業での来館者数の増加が見込まれるよう、利用者ニーズに沿った事業を効率的に実施し、施設の適切な管理運営やサービスの向上に努められたい。

市（施設所管課）による総合評価	総合評価
コロナ禍が明け、開館後初めて通常の運営ができるようになったが、工夫した事業展開等によって来館者数や図書貸出冊数等が増加している点が評価できる。 守口文化センター及び各コミュニティセンターはもちろんのこと、学校図書館との連携を更に強化することで市内全体の図書サービスの向上が図られる運営に努められたい。 施設利用率については、目標値を少し下回っているが、引き続き図書館の特性を活かした積極的な事業展開等、利用率の上昇に繋がる取組みを実施されたい。 利用者ニーズを調査するためのアンケート調査では、アンケート回収方法を工夫するなどして、例年を大幅に上回るアンケート回答数を確保することができた点は非常に評価できる。 今後も図書館の魅力発信につながる事業の実施やSNSでの発信、WEBサービスの向上については、継続的に実施していくとともに、「集い・学び・交流する」図書館を実現していくため、利用者ニーズに基づいた事業展開を期待している。	B

総合評価区分

- A：協定事項等を上回る水準で施設運営がされ、大変良好なサービスが提供されている
- B：概ね協定事項等の水準どおり施設運営がされている
- C：協定事項等の水準以下であった